

オアシス新聞

第一号
ウグイスの初音(はつね)

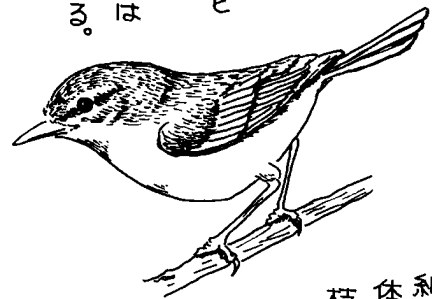
まだまだ寒い日があったかと思うと、風のない穏やかな日は陽だまりがポカポカと暖かく、春を実感する時が少しずつ増えてきます。そして決定的に「春が来た!」と思わせられるのは、やはりウグイスの鳴き声が聞こえてきたときでしょうか。

ウグイスは春告鳥(はるつげどり)とも呼ばれ、春を代表する鳥の1種です。その年最初の鳴き声を初音といいます。鳴き始めは実にハタクロで、「ホー、ホー、ホケッ」というように、なんとも情けない思わずズッコケてしまうような鳴き声を発しますが、しばらく練習すると「ホーホケキョ」とお馴染みの鳴き声になります。なぜ春以外に鳴き声が聞こえないかというと、「ホーホケキョ」というさえずりや危険を察知したときの「ケキョケキョ」という谷わたりという鳴き声は春先の繁殖期のみで、その他の時期は「チャッチャッ」という鳴き声(地鳴き)をしています。したがって春以外はないのかと思われがちですが、意外と身近にひそんでいたりします。

普段は笹が茂る山の中で生活し、人目に付く場所に出てくることはほとんどありません。ウグイス色というと抹茶のようなくすんだ緑色を指し、その想像通りの色をした小鳥 メジロとウグイスをよく間違えがちですが、実際のウグイスはオリブ色から茶褐色の地味な姿をしており、初めてその姿を見た人はがっかりすることが多いです。ウグイスには失礼な話ですよ。

またウグイスのフンは古くから洗顔料として愛用されており、酵素を多く含んでいるため、小じわの軽減や美白効果があると言われています。現代でも市販されていますが、ほとんどのものはソウシチヨウウという別種の鳥のフンを利用して作られています。

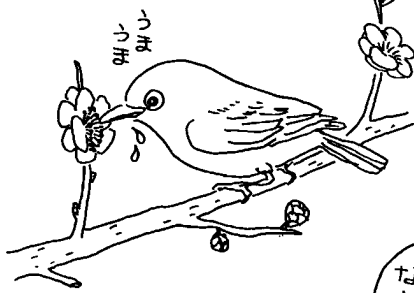
声の美しい
アナウンスの
女性を
ウグイス嬢と
いふように
その鳴き声は
天下一品である。



細くスマートな
体つきで
枝に水平にとまると
色も茶褐色なので
地味で
目立たない
種である。

失礼な!
人間の勝手な
イメージを
押しつけて
なごんや

「ウグイスは
実際には
ほとんども見られず
花の蜜を好物とし
ウグイスの枝にセ
ウグイス色の
メジロのフン
ウグイスの名を
おぼたてておぼた



ウグイスは山で
暮らす鳥で
人間に近づき
てくると
警戒心が
強くなる

